



山西 博幸 教授が有明海湾奥部における栄養塩輸送に関する招待講演を 鹿島市役所にて実施

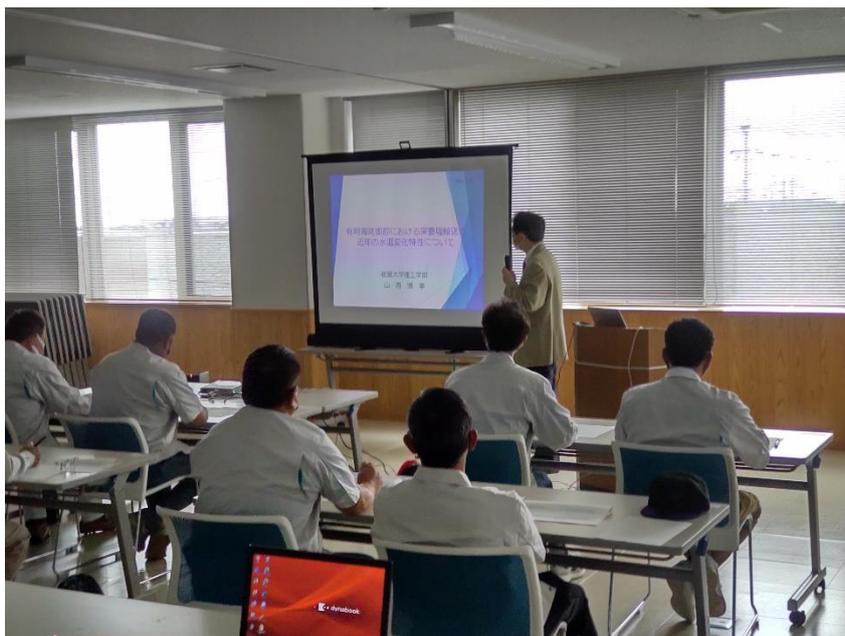
【概要】

理工学部都市工学部門の山西 博幸 教授が、2022年5月12日（木）に鹿島市役所内会議室にて、科学研究費補助金により実施してきた有明海湾奥西部水域における水質・底質環境調査の研究成果に基づく招待講演を行いました。

【本文】

2022年5月12日（木）、鹿島市役所内会議室にて、理工学部都市工学部門の山西 博幸 教授による招待講演が行われました。本講演は、鹿島市浄化センター周辺海域環境調査結果報告会の一環として実施されたもので、山西教授は「有明海湾奥部における栄養塩輸送と近年の水温変化特性について」と題して講演を行いました。講演内容は、山西教授が科学研究費補助金（JP19K12371, JP16K00621）により実施してきた有明海湾奥部西部水域のノリ不作に絡む栄養塩供給策としての下水処理場の季節別運転の効果に関する研究成果に基づくものです。

会場には、地元住民、水産漁業関係者、行政職員ら30名ほどが集まり、講演に熱心に耳を傾けていました。講演終了後、会場内の参加者と山西教授との間で、質疑応答が活発になされました。有明海のノリ養殖は地元漁業関係者の努力で毎年成果を挙げつつも、一方で、海象・気象条件に依存することも多く、科学的知見の成果還元を強く望む意見も出され、地元の大学が果たすべき役割に期待が寄せられました。



山西教授による講演風景